

養成所 ニュース

SCHOOL NEWS

第31期生241名が 受講スタート!!

「決意すること」

第31期生の皆様、本協会社会福祉士養成所へのご入学おめでとうございます。またこのたび本養成所を経て国家試験に合格された皆さんに心よりお祝い申し上げます。

私事で恐縮ですが私は本養成所の第一期生です。

30年前、社会福祉分野で国家資格が誕生することを多くの仲間が待望していました。今では想像できないほどの熱気にあふれているなか、2年の課程(当時)を学び、社会福祉士の資格を取得することができました。合格した仲間と地元の山形で県社会福祉士会を立ち上げ、また全国規模の研修会等に参加しました。社会福祉士の資格は、私に人

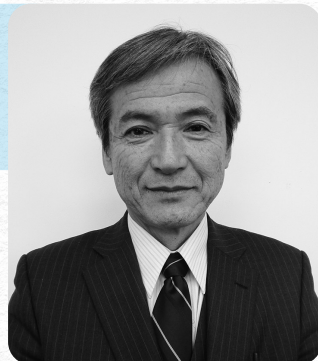
2019.6 No.29 令和元年6月1日 発行

発行

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所
〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル6F
TEL (03)3438-0984(直通) FAX (03)3431-1803

社会福祉士養成所 所長 井上 博

(日本知的障害者福祉協会 会長)



とのつながりという財産
をもたらしてくれました。

社会福祉士という資格は名称独占資格であり、医師や弁護士のような業務独占資格ではありません。しかし、地域福祉の充実が求められる時代にあって、ソーシャルワークの専門職として、さらに重要な役割が期待されています。

今年の10月より予定されている新たな処遇改善加算については社会福祉士や介護福祉士等の国家資格が主な加算要件となっています。そして地域共生社会の理念の実現に向け個人の尊厳や社会正義の実現を目指す社会福祉士の働きがさらに求められています。

仕事と学びの両立が求められる通信教育は困難なこともあろうかと思いますが、充実した時となります。そして共に学ぶ仲間の存在はあなたをさらに成長させてくれるでしょう。何事もしなとげるといふ「決意」が重要です。養成課程を修了し、試験に合格し、社会福祉士として知的障害のある利用者の権利擁護の実現に貢献してください。

皆さんの挑戦に心からのエールを送ります。

第31期生 の概要

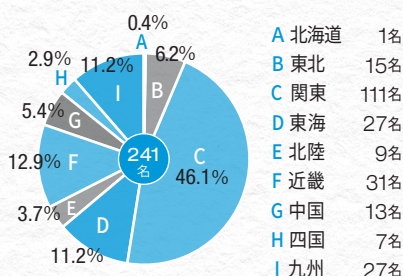
(令和元年5月現在)

第31期生社会福祉士養成所の受講生は、241名です。概要については下記の通りとなります。

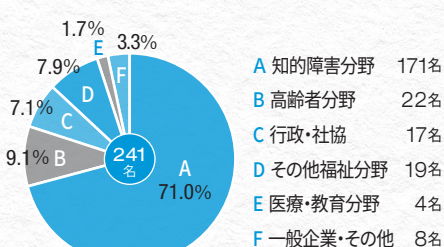
運営状況(過去3年間)

年度(期生)	応募者数	入学者数	修了者数
平成29年度(29期生)	251名	238名	226名
平成30年度(30期生)	235名	229名	
令和元年度(31期生)	252名	241名	

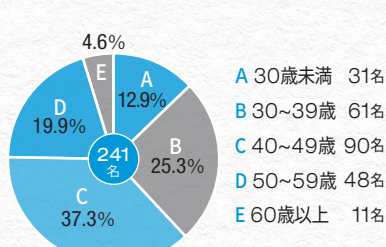
地区別分布



勤務先種別



年齢別分布



第31回国家試験結果報告

第31回社会福祉士国家試験において本養成所より138名(うち30年度修了者73名)が合格しました。前年度(第30回試験)は171名(うち29年度修了者84名)でした。

これまでの国家試験の結果

	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第29回試験	45,849	11,828	25.8
第30回試験	43,937	13,288	30.2
第31回試験	41,639	12,456	29.9
第1回試験からの合計	872,296	241,971	27.7

本養成所修了者の国家試験の結果

	総数	新卒		
	合格者(人)	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
第29回試験(27期卒業生)	174	202	82	40.6
第30回試験(28期卒業生)	171	174	84	48.3
第31回試験(29期卒業生)	138	200	73	36.5

第32回社会福祉士国家試験の概要(予定)

試験日	令和2年2月上旬
受験手数料	15,440円(昨年度額)

受付(提出期間)	元年9月上旬から10月上旬
----------	---------------

※詳細は、社会福祉振興・試験センターのホームページ

<http://www.sssc.or.jp/> をご参照ください。

From Teacher

科目担当教員から

大谷 佳子

「心理学理論と心理的支援」担当
昭和大学保健医療学部



「令和に社会福祉士となる皆さまへ」

第31期生の皆さま、ご入学おめでとうございます。第30期生、そして修了生の皆さま、初めまして。直接、お目にかかる機会がないので残念ですが、私は第16期から「心理学理論と心理的支援(当時は心理学)」を担当しており、受講生の皆さまから提出されるレポートを毎期ワクワクしながら、ときに深く感心しながら、採点させていただいています。

この原稿を作成している2019年5月1日、元号が平成から令和に変わりました。

令和になったからといって、日常生活や、日々の業務が、大きく変化するわけではありませんが、それでも新元号になったことで、気持ちを新たにされたり、あるいは社会福祉士の資格取得に向けて、気持ちを引き締めたりした方もいらっしゃるでしょう。

心理学の分野では、昨年度大変大きな出来事がありました。それは、公認心理師の誕生です。公認心理師とは、日本で初めて法律に明記された心理職の国家資格です。平成27(2015)年9月に公認心理師法が成

立し、平成30(2018)年9月に第1回目の国家試験が実施され、約3万人の公認心理師が誕生しました。

公認心理師法には、公認心理師の仕事は「保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に挙げる行為を行うことを業とする者をいう。」と定めています。次に挙げる行為とは、心理アセスメント、心理相談、心理療法などの心理的支援、そして、心の健康にかかわる知識の普及のための教育や情報提供です。公認心理師は、心理職のスペシャリストであると同時に、特定の分野に活躍の場を特化しないジェネラリストと言えるでしょう。

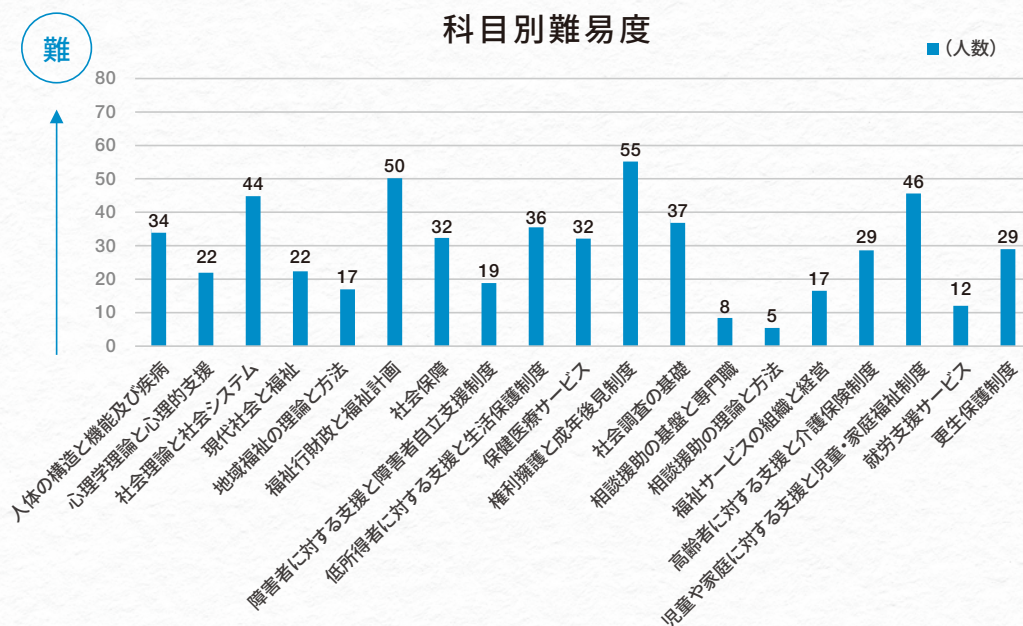
皆さまが取得を目指している社会福祉士も、公認心理師と同様の特性を持つ国家資格です。社会福祉士は、社会福祉の専門職であり、多岐にわたる活動領域を持っています。高い専門性が求められる一方で、特定の分野に特化せず、広くさまざまな領域での活躍が期待されているのです。

皆さまには、高い専門性と汎用性を併せ持つ社会福祉士を目指して、1つひとつの科目を大切に学習していただきたいと思います。レポート作成やスクリーニングを通して学ばれたことは社会福祉士としてご活躍されるときに抛り所に、そして、日々の仕事や家事・育児を行いながら学習された経験は、援助職としての、皆さまの大きな強みになるはずです。私も一教員として、皆さまの学びのお手伝いができれば幸いです。第31期生の皆さまのレポートを、楽しみにしております！

第31回国家試験に関するアンケート

平成30年10月に修了をした第29期生226名を調査対象とし、149名(①受験をした141名②申込みをしたが当日受験しなかった3名③申込みをしなかった5名)からの回答が得られました。図は受験者の回答をもとに難易度(難しいと答えた人数)を示しています。

※厚生労働省への報告のため、現在もアンケートは回収をしていますので、未提出の方は早急に提出してください。



先輩からのメッセージ

学習方法について

- お金や時間を惜しまずに学習に励んだ。10月末から、170時間勉強した。
- 数万円をかけて勉強会に通い、CDを買い、移動中も聴き続けた。
- 養成所から送られてくるテスト、受験対策講座、メルマガなど全て活用した。モチベーションを保つのに役立ったが、これだけでは不足する。参考書を購入し自分なりの勉強方法を見つける必要がある。
- 「毎年変わるような内容ではない科目」(歴史、社会学、人体など)から始めておくとうい。
- インターネットで合格者がどのように勉強して合格に至ったかをリサーチした。
- どんな問題の出され方をしても困らないように根本から理解するため、テキストから重要ポイントを書き出し、ノートにまとめ、問題集を解き、その後にもまた重要ポイントを単語帳に書き写し、空き時間に勉強できるよう工夫した。
- テキストは枠組み理解のため、通して3回(苦手科目は4回以上)読んだ。最初は大変だったが、勉強を進めるうちに知識が広がり、つながってやりがいを感じた。
- 過去問は「どこが誤りなのか」をじっくり考え解説を読み、3周目はそれでも間違えた部分の解説とワークノート、テキストをあたって補完する事を心がけた。

時間の工夫

- 電車の中、朝早く起きる等、隙間時間を利用した。週末は受験対策講座で紹介された動画で勉強を繰り返した。最後の1ヶ月は仕事帰りにカフェで2時間勉強して帰宅。
- 朝4時～6時で過去問、仕事上の空き時間を短期記憶にあて、集中して取り組んだ。
- 苦手な科目、ボリュームのある科目はペースが遅くなるので、スケジュールは余裕を持った方が良い。
- 休憩時間を使って問題を解いていたが、暗記は忘れるので理解して落とし込むことにした。

残念ながら合格できなかった方のコメント

- 勉強不足であったが、とりえず受験してみたら、思いのほか高得点であったため、もっと基礎力をつけておけば良かったと後悔した。今回の国試は、基礎力をつけていれば合格したのでは?と感じた試験だった。落ちたことによって逆に自信がついた。
- 試験会場の人数の多さにびっくりすると共に、ドキドキがおさまらなかった。
- 模擬試験は受けた方が良い。参考書はしっかりと自分にあったものを見つけるのが良い。
- 基礎学力が不足していた。あいまいな覚え方では、合格しないといく分かった。
- 早くから、コツコツと積み重ねていくことが大切だと感じた。
- 計画的に取り組めず、試験に臨んでしまったので今後に活かしたい。

専任教員から

中野 恵美子

社会福祉士 登録第1146号



「変わらないこと・変わっていくべきこと」

「ヘイトスピーチ解消法」「LGBT」「同性婚」・・・第31回社会福祉士国家試験に登場した項目です。福祉の歴史や制度に関することが出題されていることはこれまでと同じですが、その一方で、国内外からもたらされる新しい言葉や考え方や、“ニュースな言葉”も出題されるのが最近の傾向です。

ソーシャルワークは常に、時代の変化、人々の価値観の変化に影響を受けて発展していきます。一方で、社会的正義、人権擁護といった普遍的で変わることのない価値があります。ソーシャルワーカーには、「変わらないこと」と「変わっていくこと」の両方が求められ、その内容はより広く、そして深くなっていることが実感されます。

今回の出題は、社会的排除の対象とされやすい外国籍者やセクシャルマイノリティといわれる人たちが、現在の法律や政策の中でどのように位置づけられているかを問うものでした。「ヘイトスピーチ解消法とは『本邦外出身者に対する差別的言動の解消にむけた取り組みの推進に関する法律』」、「LGBTとはLesbian, Gay, Bisexual, Transgenderの頭字語である」という注釈がつけられています。

WHO世界保健機関はすでに1990年代に国際疾病分類ICDから同性愛の項目を削除していますが、昨年、性同一性障害も精神疾患の対象外とすることを発表しました。「病理ではなく状態としてとらえる」という考え方によって名称から「障害」を意味する言葉が外され、日本の厚生労働省は「性別不合」という仮訳を示しています。

このような「脱病理化」の動きは、セクシャルマイノリティといわれる人々たちを「医療の対象」ではなく、「社会の偏見の中で生きづらさを抱える人」としてとらえる方向を示しています。制度や人々の意識の変革も含めて、あらゆる場面で差別をなくし、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）を進めていくソーシャルワークの課題が、より鮮明にされたと言えるでしょう。

さらにWHOは、ICDの依存症の分類に新しく「ゲーム障害」を加えました。「ゲームをしたい衝動が抑えられず健康が損なわれている状態」が疾病として認定され、治療方法の模索はすでに始まっています。当事者のグループワークによる治療効果も報告されており、この分野でもソーシャルワークとして取り組むべき課題が見えてきます。

情報化、グローバル化が進み、人々の生活にも価値観にも変化が生まれているなか、今年もたくさんの社会福祉士をめざす方々が本養成所に入学されました。みなさんと共に、ソーシャルワークの世界を、感覚を研ぎ澄ましなが、時代を先取りしていくという気構えをもって学んでいきたいと思います。お互い、励ましあいながら進んで行きましょう。

養成所
ニュース
プラス+

「養成所ニュースプラス」は、登録されたメールアドレスに随時、養成所からのお知らせや受験に関する情報、過去の国家試験問題と解説等※をお届けするメールマガジン（無料）です。通勤・通学や普段の学習の合間に、受験勉強の“きっかけ”としてご利用ください。登録に関してはホームページをご覧ください。

公益財団法人日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所

随時
配信各種
情報
配信受験
対策

※9月頃より「受験対策ミニ講座」を配信予定



無料

社会福祉士養成所ホームページURL

【<http://www.aigo.or.jp/yoseijo/>】

令和元年度スクーリング日程

	30期生スクーリング②	31期生スクーリング①
東京会場	令和元年 7月26日(金)～28日(日)	令和元年 8月23日(金)～25日(日)
仙台会場	令和元年 7月19日(金)～21日(日)	令和元年 7月19日(金)～21日(日)
名古屋会場	令和元年 8月30日(金)～9月1日(日)	令和元年 8月30日(金)～9月1日(日)
大阪会場	令和元年 7月13日(土)～15日(月祝)	令和元年 7月13日(土)～15日(月祝)
福岡会場	令和元年 8月2日(金)～4日(日)	令和元年 8月2(金)～4日(日)

※養成所に対するご要望・ご意見等ございましたら、ご連絡ください。✉ yoseijo@aigo.or.jp

国家試験にむけてのおすすめ図書

- ・週刊福祉新聞(福祉新聞社)
- ・福祉小六法(中央法規出版、ミネルヴァ書房)
- ・社会福祉用語辞典(中央法規出版、ミネルヴァ書房)
- ・社会福祉士過去問解説集、ワークブック、国試ナビ(中央法規出版)
- ・RB社会福祉士国家試験のためのレビューブック(メディックメディア)